

平成30年度(2018年度)

## 事業報告書

### 社会福祉法人 あ り ん こ

◇本部	1 ページ～
◇障害福祉サービス事業所ありんこ	5 ページ～
◇ライフサポートセンターさかえ	
・ GH あさひ GH そよかぜ	14 ページ～
・ 短期入所事業所 ありが亭	17 ページ～
◇ライフサポートセンターありんこ	
・ 富士北麓障がい者相談支援センターありんこ	18 ページ～
・ 障がい者就業・生活支援センターありす	22 ページ～
＊ 富士北麓基幹相談支援センターふじのわ事業計画	24 ページ～

**社会福祉法人ありんこ**  
**平成30年度事業報告書**  
(平成30年 4月 1日～平成31年 3月 31日)

【法人概要】

種 類 及 び 名 称	社会福祉法人ありんこ
所 在 地	山梨県富士吉田市大明見 1-13-28 (TEL) 0555-22-7217
代 表 者	理事長 渡 邊 秀 樹
設 立 年 月 日	平成 13年 10月 26日

【法人の事業】

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種 類 及 び 名 称		障害福祉サービス事業所ありんこ									
所 在 地		山梨県富士吉田市大明見 1－1 3－2 8									
電 話 番 号		0 5 5 5－2 2－7 2 1 7				F A X 番号		0 5 5 5－2 2－7 2 1 8			
代 表 者		管理者 桑原 由紀枝				サ ー ビ ス 管 理 責 任 者		桑 原 由 紀 枝			
事業開始年月日		平成 2 2 年 4 月 1 日									
事 業	自立訓練(生活訓練)		定員	6	年度末 現員	6	開 所 時 間	9 時 ～ 1 6 時 3 0 分 ( 7 . 5 時間)			
	就 労 移 行 支 援		定員	6	年度末 現員	6	開 所 日	月～金曜日 (土・日の行事あり)			
	就労継続支援B型		定員	30	年度末 現員	31	開 所 日 数	248日(生活)	249日(移行)	290日(継続B)	
職 員	職 種	施設長	サービス 管理責任者		生活支援員		職業指導員	就労支援員	目標工賃 達成指導員	調理員	事務員
	人数	1	1		6		11	1	1	4	1
内 容	訓練科目	・ 調理、清掃、洗濯、裁縫、草取り等家事訓練 ・ コミュニケーション訓練、金銭管理訓練、衛生管理訓練、生産従事訓練、体力作り ・ 社会人マナー訓練、社会資源活用体験 ・ 企業実習、施設外就労、施設外支援									
	授産種目	・ 紙器加工、精密部品処理、野草他サンプル等の袋詰めなどの簡易受注作業 ・ お弁当、お菓子、手工芸品、加工品などの自主製品づくりと販売活動									
	他の活動	・ アルミ缶や古紙などの回収、仕分 ・ 各種研修会への参加 ・ レクリエーション活動									
		・ バザーや模擬店の出店 ・ 地域との交流事業 ・ 余暇活動、創作活動支援									
		・ 就職活動相談及び支援 ・ パソコン技能、運転免許取得等の学習 ・ ボランティア活動 ・ カフェ運営									

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種 類 及 び 名 称	知的障害者外部サービス利用型共同生活援助事業 グループホームあさひ			
所 在 地	山梨県富士吉田市旭 2丁目15番12号 (TEL) 0555-22-3770			
バックアップ施設	障害福祉サービス事業所ありんこ	管 理 者	桑 原 節 子	
事業開始年月日	平成 30年 4月 1日	サービス管理責任者	渡 邊 淳 一	
利 用 定 員	5名(男性)	年 度 末 現 員	3名(男性)	

従 たる 事 業 所	知的障害者外部サービス利用型共同生活援助事業 グループホームそよかぜ		
所 在 地	山梨県富士吉田市下吉田５－１３－１８ (TEL) ０５５５－２３－０２９４		
事業開始年月日	平成 １９年 １１月 １日		
利 用 定 員	７名（女性）	年 度 末 現 員	７名（女性）

職 員	サービス管理員兼世話人１名（常勤） 世話人６名（常勤２名 非常勤４名）		
事業の運営方針	障がいをもつ方が、地域で当たり前に生活できるような環境づくりを目指し、本人の意思及び人格を尊重し、健全で主体的な生活が送れるように、利用者の立場に立って援助を行い、自立生活や地域活動の充実を図ります。		

#### ■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

従 たる 事 業 所	短期入所事業所ありが亭		
所 在 地	山梨県富士吉田市旭 ２丁目 １５番 １２号 (TEL) ０５５５－２２－３７７０		
事業開始年月日	平成 ３０年 ４月 １日	利 用 定 員	３名
職 員	生活支援員 ５名（兼務）		
事業の運営方針	障がいをもつ方が、地域で当たり前に生活できるような環境づくりを目指し、本人の意思及び人格を尊重し、健全で主体的な生活が送れるように、利用者の立場に立って援助を行い、自立生活や地域活動の充実を図ります。		

#### ■第二種社会福祉事業（相談支援事業）の実施

種 類 及 び 名 称	富士北麓障がい者相談支援センターありんこ （指定特定・指定障害児相談＝富士吉田市指定） （指定一般相談＝山梨県指定）		
所 在 地	山梨県富士吉田市新西原 ３－４－２０		
電 話 番 号	０５５５－３０－０５０５	F A X 番号	０５５５－３０－０５０６
代 表 者	管理者 角張 洋和	事業開始年月日	平成 ２３年 ４月 １日
相 談 担 当 者	相談支援専門員 常勤 １名 非常勤 １名		
事業の目的と内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者、家族、介護者、関係者等（以下「障がい者等」という。）からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、その他の障がい福祉サービスの利用等、必要な支援を行うことにより、障がい者等が自立した生活または社会生活を営むことが出来るようにします。</li> <li>・サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成し、モニタリングを実施し継続支援を行います。</li> <li>・地域移行支援、地域定着支援を行います。</li> </ul>		

#### ■公益事業の実施

種 類 及 び 名 称	障がい者就業・生活支援センターありす （国、県からの委託事業）		
所 在 地	山梨県富士吉田市新西原 ３－４－２０		
電 話 番 号	０５５５－３０－０５０５	F A X 番号	０５５５－３０－０５０６
代 表 者	センター長 三浦 誠	事業開始年月日	平成 ２３年 ４月 １日
職 員	主任就労支援員（常勤１名） 就労支援員（常勤１名） 生活支援員（常勤１名・他事業兼務職員１名）		
事業の目的と内容	就職を希望する障がい者、職場不適応により離職した障がい者や離職のおそれがある在職中の障がい者に対し、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障がい者の職業生活における自立を図ります。		

# ■公益事業の実施

種 類 及 び 名 称	訪問型職場適応援助者事業		
所 在 地	山梨県富士吉田市新西原 3－4－20		
電 話 番 号	0555－30－0505	F A X 番号	0555－30－0506
代 表 者	センター長 三浦 誠	事 業 開 始 年 月 日	平成29年 4月 1日
職 員	第一号ジョブコーチ 2名（兼務）		
事業の目的と内容	就職を希望する障がい者、職場不適応により離職した障がい者や離職のおそれがある在職中の障がい者に対し、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障がい者の職業生活における自立を図ります。		

## 【法人の運営】

### ＜理事会の開催＞

	開催年月日	出席者数	決 議 事 項
1	H30. 4. 10	7 (2)	グループホームあさひ改修工事について 運営委員会承認事項について その他
2	H30. 6. 20	7 (2)	平成29年度事業報告（案）について 平成29年度収支決算報告（案）について その他
3	H30. 11. 28	5 (2)	平成30年度第一次補正予算（案）について その他
4	H30. 12. 20	5 (2)	法人の組織体制について 運営委員会報告事項などについて その他
5	H31. 3. 27	5 (2)	2018年度第二次補正予算（案）について 2019年度事業計画（案）について 2019年度収支予算（案）について その他

（ ）は監事出席

### ＜評議員会の開催＞

	開催年月日	出席者数	決 議 事 項
1	H30. 6. 20	8	平成29年度収支決算報告（案）について その他
2	H30. 11. 28	7	平成30年度第一次補正予算（案）について その他
3	H31. 3. 27	6	2018年度第二次補正予算（案）について 2019年度事業計画（案）について 2019年度収支予算（案）について その他

<その他の活動>

月	日	曜	主な活動内容
4	1	日	ライフサポートセンターさかえ内覧会
	2	月	新年度法人全体顔合わせ集会
	7	土	ライフサポートセンターさかえ開所式
5	13	日	ありんこフリーマーケット広場開催（富士山レーダードーム前広場）
	29	火	法人内部監査
	20	水	法人職員研修会（虐待防止委員会主催）
6	7	木	ありんこ利用者桑原由成さんご尊父 通夜参列
	29	金	甲府法務局へ資産変更登記
7	7	土	山梨県肢体不自由児者父母の会連合会関東ブロック大会参加
8	5	日	高座神社祭典参列
	9	木	健康科学大学求人説明会参加
	17	金	山の神社祭典参列
9	6	木	都道府県経営協セミナー参加（事務局2名）
10	21	日	ありんこ祭り
	24	日	富士吉田市による法人監査
	2	日	サポあり主催「知ってもらいたい我が町の福祉事業所」
12	5	水	都道府県経営協セミナー参加（事務局2名）
	19	水	法人職員研修会
	17	木	天神社祭典参列
1	26	土	ありんこグループ新年互礼会
	31	木	地域生活拠点支援事業説明会参加（桑原管理者）
	31	木	元理事 小俣寿春様 葬儀参列
2	2	土	初午祭
	10	日	障がい者福祉推進委員新年互例会参加
	20	水	ユキプラ会長 長田行男 様 葬儀参列
3	22	金	桑原節子理事 ご母堂通夜参列
	3	日	富士吉田市民会館館長 宮下様ご尊母葬儀参列
	12	火	ワークピア河口湖開所式出席（三浦センター長出席）
	26	火	ありんこ利用者 矢嶋鉄二さんご尊母 葬儀参列

<一般寄付金>

連合山梨 様 岡田俊哉 様 勝俣高彦 様 矢嶋卓男 様

<物品寄付>

（株）キトー 様 （株）ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ 様 （財）テレビ山梨厚生文化事業団 様  
 富士吉田市社会福祉協議会 様 富士吉田ライオンズクラブ 様  
 住友生命保険相互会社山梨支社 様 住友生命労働組合山梨支部 様 明治安田生命保険相互会社 様  
 明見中学校 様 吉澤製パン 様 慈光院 様 （有）亀齢堂 様 ファルマフード研究所 様  
 羽田紙器 様 松野屋 様 松山油脂株式会社 様 三枝農園 様 ほか

# 障害福祉サービス事業所ありんこ

## 平成30年度事業報告書

(平成30年 4月 1日～平成31年 3月 31日)

### 1. 利用者

定員 生活訓練 6名 就労移行支援 6名 就労継続支援B型 30名  
 年度末現員 生活訓練 6名 就労移行支援 6名 就労継続支援B型 31名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活訓練	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6
就労移行	4	3	3	4	4	4	5	5	4	3	4	8
就労継続B型	32	33	33	33	33	33	34	34	33	33	33	32
合 計	41	41	41	42	42	42	44	44	42	41	42	46

生活訓練 = 4月 1名終了 (就労継続B型へ) 3月 1名利用開始 (新規)

就労移行 = 5月 1名利用終了 (就職) 7月 1名利用開始 (新規)  
 10月 1名利用開始 (新規) 12月 1名利用開始 (B型から) / 2名終了 (就職)  
 1月 1名終了 2月 1名利用開始 (新規)  
 3月 4名利用開始 (新規・B型から)

就労継続B = 4月 1名利用開始 (生活訓練から) 5月 1名利用開始 (新規)  
 10月 1名利用開始 (新規) 12月 1名終了 (就労移行へ)  
 3月 1名終了 (就労移行へ)

支給決定市町村 富士吉田市 33名 富士河口湖町 7名 上野原市 2名  
 (述べ実人数) 忍野村 1名 西桂町 2名 道志村 1名  
 都留市 1名

### 2. 職員

施設長 (常勤) 1名 サービス管理責任者 (常勤) 1名 調理員 4名  
 就労支援員 (常勤) 1名 目標工賃達成指導員 (常勤) 1名 事務員 1名  
 職業指導員 (常勤) 3名 (非常勤) 8名  
 生活支援員 (常勤) 4名 (非常勤) 2名

### 3. 開所日数・延べ利用人数・1日平均利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活訓練	日	21	22	21	23	20	20	23	21	19	19	19	20	248	3.9 人
	人数	88	91	88	82	74	74	88	83	81	73	74	88	984	
就労移行	日	21	23	21	23	20	20	23	21	19	19	19	20	249	3.2 人
	人数	70	47	49	77	67	63	75	81	68	51	59	105	812	
就労継続B	日	23	26	26	26	26	26	27	25	22	21	20	22	290	27.3 人
	人数	663	700	691	703	664	641	718	695	634	604	606	604	7,923	
合計	日	21.6	23.6	22.6	24.0	22.0	22.0	24.3	22.3	20.0	19.6	19.3	20.6	261.9	37.1 人
	人数	821	838	828	862	805	778	881	859	783	728	739	797	9,719	

### 4. 工賃・謝金等支払月別状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
就労移行	支払総額	68,218	70,589	72,426	83,636	68,467	16,493	13,767
	平均賃金	22,739	23,530	24,142	20,909	17,117	5,498	4,589
就労継続B	支払総額	521,804	580,670	561,136	565,553	623,351	606,337	574,370
	平均賃金	16,306	17,596	17,004	17,138	18,889	18,374	16,893
生活訓練	支払総額	22,046	22,803	31,245	43,464	44,405	54,279	42,288
	平均謝金	4,409	4,561	6,249	8,693	11,101	13,570	10,572

		11月	賞与	12月	1月	2月	3月	合計
就労移行	支払総額	15,406	30,000	43,189	35,140	54,668	181,404	753,403
	平均賃金	5,135	7,500	14,396	11,713	13,667	25,915	17,521 /月
就労継続B	支払総額	606,251	495,000	520,392	496,666	494,733	1,752,679	8,398,942
	平均賃金	17,831	15,000	15,769	15,050	14,992	54,771	21,209 /月
生活訓練	支払総額	58,956	75,000	47,454	36,800	41,230	216,813	736,783
	平均謝金	11,791	15,000	9,491	9,200	10,308	43,363	13,396 /月

## 5. 活動報告

### ①自立訓練(生活訓練)

自主通勤訓練    掃除訓練    洗濯訓練    裁縫訓練    買い物訓練    調理訓練  
 金銭訓練    社会資源利用訓練    生産活動訓練  
 コミュニケーション訓練    地域交流活動    地域清掃活動    四季の行事体験  
 時事学習    体力づくり    健康診断    研修会・講演会参加  
 創作活動    イベント参加    月間目標決め

平成30年度は、2名の利用者（新卒者と就労継続B型からのサービス変更）を迎え、男性3名・女性2名、計5名でスタートしました。家事訓練、イベントや外部教室への社会参加、地域資源の活用など、従来から取り組んでいる活動に加え、利用者さんの「働きたい」という希望に応じ、自立に向け幅広い取り組みを行って参りました。利用者さんの中には、就職を目指したい方が複数おられ、就労移行支援事業や就労継続B型事業と連携を図りながら、施設外作業の体験（リネン仕分け・ベットメイキング）を行い、現在も継続出来ております。一方、就職を目指すために、まず生活リズムを整え毎日通所することを目標とする方がおられましたが、精神面での安定が図れず休みがちとなり、支援の難しさを感じました。また、洗濯作業の体験実習を行った方は、企業側から良い評価をいただきましたが、ご本人の意向を再度確認したところ、実はありんこで皆と過ごしたいという気持ちが強かったというケースがありました。もともとコミュニケーションが苦手で自分の気持ちをはっきり伝え難い方なので、コミュニケーションの訓練がもっと必要であったと痛感いたしました。大きな課題です。

これからも、利用者さんのニーズにあった自立訓練に取り組み、利用者さんが前向きな気持ちで通所して来られる様努めて参ります。

### ②就労移行支援

個別訓練(パソコン、各種運転免許、読み書き・計算、金銭管理、清掃 等)、  
 就職準備訓練(ビジネスマナー、履歴書等書類の書き方、面接練習、会社見学、  
 ハローワーク活用 等)、  
 作業訓練(部品の検査や組み立て、洗車作業、環境整備作業 等)、  
 施設外訓練(企業実習、施設が支援や施設外就労の提供 等)、  
 その他(研修会やイベントへの参加)

平成30年度は、合計で10名の方にサービスを利用いただきました。そのうち、5名が一般就労し、実習件数は5件（5社）でした。一般就労された5名のうち4名は、就労継続支援B型のサービス利用から就労移行支援につながったケースであり、一般就労に向け段階的に支援を提供していくことと事業所内での連携の重要性を実感しました。

また、一般就労後の定着支援にも力を入れ取り組みました。企業訪問や来所相談、家庭訪問や電話対応などの支援を行い、一般就労後のフォローアップ体制を整えました。ご本人様や企業様の悩みごとや困りごとに対し、迅速に対応し、一緒に解決策について考え、職場定着に向けた支援を提供できたと思います。平成31年度からは、就労定着支援事業も始まります。事業所内はもちろん、地域の関係機関との連携を今まで以上に意識し取り組んでいきたいです。

### ③就労継続支援B型

精密部品加工作業 印刷物発送仕分け作業 紙器加工 野草等計量梱包作業  
バリ取り作業 資料や印刷物、看板の作成作業 リサイクル品の収集と処理事業  
調理作業(弁当、総菜、菓子等) 農作業 縫製作業 ビーズアクセサリ作成  
施設外就労 施設外支援 うどんカフェや企業での就労及び実習 販売作業  
環境整備作業 模擬店等出店  
地域交流活動 地域清掃活動 体力作り 健康診断 研修会・講演会参加  
創作活動 四季の行事体験 時事学習 イベント参加

#### ・作業班

平成30年度は新たな試みとして、山梨県農福連携推進センターからご紹介をいただいた花苗農家様のもとで、ポット花の鉢上げ作業等に取り組みました。農家様からは良い評価をいただき、平成31年度（令和1年度）も契約を更新していただきました。利用者さん達も意欲をもって取り組んでいます。

受託作業については、以前作業を委託して下さっていた企業から、保冷剤の袋入れ作業を再受注させていただいたり、他施設から受託作業を紹介していただいたり、新たな事業の展開があった一年でした。

就労継続支援B型に在籍し、施設外就労等の実習で経験を積んで自信をつけ、就労移行にサービスを変更後に一般就労された方が3名いました。利用者さん達の今後の可能性を広げることができるよう、他事業と連携し次年度も積極的に取り組んで参ります。

平成30年度の月額目標工賃は21,000円でしたが、平成31年3月時点で月額平均工賃は21,209円となり、目標を達成することができました。収入増の見込めるイベントが中止になることがたびたびあり苦しい一年でしたが、利用者さん達の頑張りはもちろん、問題や課題が出るたびに所属職員で話し合い、毎月の「事業内容検討会議」で検討し、解決や改善ができたからこそだと思っています。

健康面では、利用者みなさんは体調を崩すことも少なく、概ね元気に通所することができましたが、12月の健康診断で異常が見つからなかったにも関わらず、不幸にも亡くなられた方がいました。毎朝の健康状態の聞き取りを継続し、通所中だけでなく帰宅後や休日等の生活状況の把握や、医療との連携を心がけていきたいと思ひます。また、苦手な方との動線の重なりや作業空間の音や雰囲気慣れず不安定な様子を見せる方がいるので、パーテーション等を活用し、安心して作業に臨むことができる環境づくりを引き続き行っていきたいと考えています。

#### ・お菓子班

利用者の方のできる作業が増えてきました。共に働く職員の技術の向上を目指し、定番商品の品質の安定を図りました。1月からは新しくパン作りを始めました。新しく慣れない作業で、利用者の方は、最初戸惑っていましたが、回を重ねるごとに慣れてきました。パン作りでも、できる事ができるように試行錯誤しているところです。製作と販売のバランスを考え、両立できるように日々効率よく行動していきます。

#### ・ありんどう

オープンから5年が経過しチラシ配りやポイントカード等の新たな工夫の効果もあり、少しずつ地域の皆様への周知が進んできた実感していますが、H29年度は前年比で600,000円ほどの減収となってしまった事を踏まえ、H30年度は毎月の事業内容検討会議内において必ずありんどう議題を設け、検討を重ねて参りました。その中で新商品のあんみつや、店舗周り整備案として看板の設置等の新たな案が生まれ、実際にあんみつは、販売開始後の7カ月間で月平均36食の販売実績を残し、人気商品となっています。

新年度もこれまでの取り組みを継続していくとともに、新たな展開や商品を絶えず模索・追求していきます。あわせて、より地域の皆様に愛され、親しんで頂ける店舗作りを目指し、検討を重ねて参ります。

#### ・厨房班

平成30年度は平均食数（100食）を下ることはありませんでした。今年度目立ったのは市民会館を利用する団体様よりありんどうのコーヒーとケーキセット付きのお弁当を注文をして下さるお客様が増えてきていることです。また、市民会館を利用する都内の団体様からも毎年、変わらずの注文があります。

産休に入る職員がいましたが忙しい時間の中で新しい職員との引継ぎもスムーズにできました。利用者間の異動もなく、慣れたメンバーの中で少しずつですが個人のできることも増えてきています。

衛生管理状態や個人の健康状態も問題なく過ごせました。引き続き衛生管理は特に気をつけていきたいと思ひます。



#### ④その他

- ・ 定例職員会議 毎月15日(休日の場合は前日の平日)に開催
- ・ 支援計画 個別支援計画に係るケース会議、説明並びに同意の面談の開催(随時)  
計画相談における関係者会議やモニタリングへの出席(随時)  
事業所参観の実施
- ・ 職員研修会 計画相談における関係者会議やモニタリングへの出席(随時)  
事業所参観の実施、虐待防止法、総合支援法、サービス管理責任者、  
相談支援員、防災、工賃向上、地域福祉、福祉施設初任者、  
障害特性、ピアカウンセリング S S T 他
- ・ 実習・体験受入れ ふじざくら支援学校・相談支援員の紹介者  
山梨県立大学、昭和大学、都留文科大学、白梅学園大学  
富士北稜高校 他
- ・ イベント開催・参加 ありんこフリーマーケット広場、ありんこ祭り、新年互礼会  
ヨハネ祭、 p a l - p a l 祭、けやき園桜祭り、新倉浅間公園桜祭り  
富士ふれあいの村祭り、大明見夏祭り、火祭りロードレース  
市民夏祭り、あんずの森祭、看護学校学園祭、障害者芸術文化祭  
西桂福祉健康祭り、忍野村福祉健康祭り、富士山マーケット  
ふじみサロンいきいき祭り、麦の穂展、麦の穂交流会、太陽の集い  
郡内地域生活支援事業所協議会交流会、赤い屋根のお祭り 他

月	日	曜	主な活動内容
4	2	月	新年度開始式 就)ボランティア受け入れ(～4/12)
	4	水	お花見(河口湖・西桂桜公園～忠霊塔) 4/5(孝徳公園) 4/9(富士ビューホテル)
	7	土	ライフサポートセンターさかえ開所式職員出席
	12	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	14	土	B)けやき園さくらまつり出店
	17	火	B)体験実習1名受け入れ
	18	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売(4/25)
	19	木	厨)ヨハネ様 仕出し弁当64食提供 生)外出訓練(ありんどう)
	20	金	B)就労継続支援B型事業内容検討会議
	21	土	障害者の地域生活を考える保護者連絡会「ひつじ」定期総会へ施設長出席
	23	月	就)体験実習1名受け入れ(～4/27) 生)麦の穂会議(於富士北麓聖ヨハネ支援センター)
	24	火	B)職場適応援助者養成研修(於障害者職業総合センター)職員参加(～4/27)
	27	金	生)個別調理訓練(ハムチーズのサンドイッチ)
	28	土	B)看護学校春和祭出店 障害者フライングディスク大会郡内大会参加(パインズパーク)
	30	月	開所日(障害者スポーツ大会陸上・フライングディスク参加)(スポーツ大会応援・県立博物館見学)
5	1	火	麦の穂展示会搬入(山梨中央銀行吉田支店 5/2～5/31)
	7	月	就)体験実習1名受け入れ(～11日)
	9	水	B)職場適応援助者実技研修(於山梨県障害者職業センター)(5/17・5/23) 生)料理教室(筍とふきの混ぜご飯・バナナシャーベット)
	10	木	B)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	12	土	ありんどう)郡内お母さんコーラス大会様40名 味噌汁付弁当・飲み物・ケーキ提供 ありんこフリーマーケット広場前日準備
	13	日	ありんこフリーマーケット広場開催 B)赤い屋根チューリップ祭り出店(於青少年センター) 障害者スポーツ大会参加(ボウリング)
	15	火	厨)富士吉田連合婦人会様 仕出し弁当73食提供
	16	水	生)茶道教室 B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売(5/23・30)
	18	金	就生B)知的障害者支援協会交流スポーツ大会参加 B)シチズン時計にてお菓子販売
	21	月	生)麦の穂会議(於富士吉田地域交流センター) 就)障害者福祉従事者スキルアップ研修職員参加
	23	水	管)山梨県知的障害者地域生活支援事業所協議会総会へ職員参加
	24	木	生)外食訓練(スシロー)
	25	金	生)個別調理訓練(ハムエッグ) B)就労継続支援B型事業内容検討会議
	29	火	ふじざくら支援学校1期実習(就労移行3名・継続B2名 ～6/8)受け入れ B)長坂にて販売用小梅の引き取り
	30	水	就)社会福祉従事者ビジネスマナー研修職員参加
6	1	金	渡邊栄元施設長のお墓参り 生)陶芸教室
	6	水	厨)山中湖村役場様へ仕出し弁当60食提供
	8	金	管)赤い屋根共同募金贈呈式へ職員出席
			厨)アールビーズ様へ仕出し弁当 夕50食提供 (9日 188食提供)

月	日	曜	主な活動内容
6	9	土	厨)フラダンス団体様へ仕出し弁当84食提供
	11	月	生)麦の穂会議(於ありんこ:展示会反省と交流会について)
	12	火	就)やまびこ支援学校 I 期実習1名(～6/22)・桃花台学園 I 期実習1名(～6/27)受け入れ
	13	水	生)料理教室(ポテトピザ・ミネストローネ)
	14	木	就生B)ふじざくら支援学校オープンスクール職員出席 就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	18	月	「高次脳機能障がい理解と支援」研修職員参加
	19	火	B)長坂にて販売用大梅の引き取り
	20	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売(6/27) 虐待防止研修会(法人職員研修会)へ職員参加 (於ライフサポートセンターさかえ)
	21	木	就)体験実習1名受け入れ(～6/27)
	22	金	B)富士吉田市障害者団体連絡協議会いずみ定期総会 ありんどうにてうどん・かやくご飯提供
	23	土	B)富楽時まつり出店 B)昭和大祭出店
	24	日	B)富士山マーケット出店
	25	月	生B厨)麦の穂交流会へ参加 B)山梨市和田様の桃園作業開始
	26	火	生)個別調理訓練(おにぎり)
	27	水	就)ビルクリーニング検定研修へ職員参加 明見中学校環境美化委員様よりプランター植えの花3個寄贈を受ける
	28	木	ありんどう)PORUTA(武田広告社)様取材
	29	金	生)陶芸教室 B)就労継続支援B型事業内容検討会議
7	4	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売(7/11・18・25)
	6	金	B)シチズン時計にてお菓子販売
	7	土	パルパル祭 山梨県肢体不自由児者父母の会連合会関東ブロック大会にて出店販売(アピオ)
	8	日	B)忍野福祉健康祭り
	9	月	就)ホンダオートテラスにて1名実習開始(～7/20) 山梨県高次脳機能障害者支援センターより2名来所・見学
	10	火	就)障害者虐待防止権利擁護基礎研修へ職員参加 B)北稜高校様へ学園祭
	12	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席 防犯訓練(於ライフサポートセンターさかえ)に事業所防犯防災委員参加
	14	土	厨)アールビーズ様・舞工房様へ仕出し弁当・84食提供 (前日13日35食提供) B)マリア幼稚園様へ菓子200ヶ提供
	16	月	開所日
	17	火	厨)社会福祉施設(給食担当)現任職員研修へ職員参加
	19	木	就)就業支援基礎研修へ職員参加(全3回:7/24・7/30) 生)調理訓練(ジャガイモのお焼き)
	20	金	B)就労継続支援B型事業内容検討会議
	21	土	富士吉田市労働者福祉協会 鱒のつかみどりバーベキュー大会参加
	23	月	生)麦の穂会議(於:富士桜作業所 交流会の反省・寿荘慰問について) 生)絵手紙教室
	25	水	就B)ジョブコーチ事業推進協議会へ職員2名参加
	26	木	富士吉田キューピー株式会社様総務課より2名来所・見学 生)調理訓練(クラッカーづくり)
	30	月	就)ホンダ自動車販売にて1名実習開始(～8/10) 生)クラフト教室

月	日	曜	主な活動内容
7	30	月	B)明見中学校2年生職場体験2名受け入れ
8	6	月	都留文科大学介護体験1名受け入れ(～8/10)
	7	火	山梨県農福連携推進センター・峰様と花農園作業について打ち合わせ(8/20～作業開始)
	9	木	B)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	9	木	てんかん基礎講座研修へ職員参加(～8/10)
	11	土	生)山中湖あんずの森祭りに出店販売 出勤日
	13	月	ライフサポートセンターさかえ夏祭りに利用者・職員参加
	14	火	B)大明見夏祭りに出店販売
	17	金	厨)オーケストラ連盟様へ仕出し弁当80食提供 (8/18 80食提供)
	20	月	都留文科大学介護体験1名受け入れ(～8/24)
			生)麦の穂会議(寿荘慰問)
	26	日	B)火祭りロードレースに出店販売
	31	金	B)山梨県芸術文化祭出店販売(～9/1)
9	1	土	就)ホンダ自動車販売に1名就職
			山梨県障害者文化展出展者見学
	3	月	就)ミナモトに1名就職
			管)富士北稜高校ボランティア活動入門事前学習で授業
			就生)山梨県相談支援従事者初任者研修へ職員2名参加(全5回:9/5・9/21・9/28・10/5)
	7	金	昭和大学体験実習第Ⅰ期4名受け入れ(～9/11)
			農福連携事業について、全国農業新聞の取材を受ける
	8	土	ふれあいの村祭り出店参加・手話コーラス披露
	10	月	長崎瑞宝太鼓演奏会鑑賞(於:都留)
			富士北稜高校交流学习Aグループ① 9名受け入れ
	11	火	防災について保護者との打ち合わせ会
	12	水	昭和大学体験実習第Ⅱ期4名受け入れ(～9/14)
	15	土	厨)富士レークホテル様へ仕出し弁当50食提供
	18	火	昭和大学体験実習第Ⅲ期4名受け入れ(～9/20)
	20	木	管)山梨県虐待防止・権利擁護実践研修へ職員参加
	22	土	JTB様へ仕出し弁当111食提供
			昭和大学実習報告会へ職員出席
	25	火	事業所防災訓練(火災を想定・消防署立ち合い)
	26	水	ふじざくら支援学校よりⅡ期実習生受け入れ(～10/10 就労3名・継続B2名)
	27	木	生)個別調理訓練(わかめと豆腐の味噌汁)
	29	土	生)慶和荘祭りへ出店参加
10	1	月	富士北稜高校交流学习Bグループ① 9名受け入れ
	3	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売(10/10・17・24・31)
	6	土	B)県民の日イベント出店販売・西桂地域おこしサミット出店販売
	9	火	生)やまびこ支援学校実習生1名受け入れ(～10/19)
	11	木	全国障害者スポーツ大会福井大会へ出発 1名出場(職員1名同行～10/17)
			就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席(農福連携事業の説明)
	15	月	富士北稜高校交流学习Aグループ② 9名受け入れ
			厨)都市税務連絡協議会様へ仕出し弁当55食提供
	17	水	生)茶道教室
	20	土	太陽の集いへ利用者参加・仕出し弁当提供
	21	日	ありんこ祭り2018開催
	22	月	富士北稜高校交流学习Bグループ② 9名受け入れ
	24	水	サービス管理責任者研修全体講義 職員2名受講
	26	金	就B)障害者就職面接会へ参加(於:ハローワーク富士吉田)
	27	土	富士吉田レクリエーション協会主催「こぞれ富士人」へ参加
	31	水	第1回事業者集団指導及び説明会へ職員参加

月	日	曜	主な活動内容
11	1	木	サービス管理責任者研修(就労分野 11/9)
	7	水	就B)ジョブコーチスキルアップ研修へ職員参加 B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売(11/14・21・28)
	8	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	9	金	生)個別調理訓練(チャーハン)
	12	月	生)麦の穂会議(富士山レーダードーム周辺のもみじ狩り)
	14	水	就)山梨県地域生活支援事業所協議連絡会視察研修へ職員参加(千葉県社会福祉法人なゆた)
	17	土	B)インターナショナルともだちフェスタ出店販売
	18	日	手をつなぐ育成会セミナーへ職員参加
	21	水	生)茶道教室 管)平成30年度富士北麓自立支援協議会全体会職員参加
	22	木	生)クラフト教室 B)ふじざくら支援学校生徒・教職員22名、ありんどう来店 うどん提供
	23	金	B)子どもフェスタ出店販売
	27	火	サービス管理責任者研修(地域・生活分野 11/30) 明見中学校環境美化委員様よりプランター植えの花3個寄贈を受ける
	28	水	生)料理教室(豚汁・さつまいもご飯)
	29	木	強度行動障害研修へ職員参加(於ヨハネ学園ソフィアホール)
12	2	日	ライフサポートセンターありんこ主催「地域共生社会について考える研修会」へ職員参加
	3	月	ふじざくら支援学校より、高等部1年生生徒・保護者・職員見学受け入れ ふじざくら支援学校高等部3年生3名実習受け入れ(～12/7) 麦の穂会議(麦の穂展の看板づくり)
	5	水	B)昭和大学富士吉田校舎にて、クッキー・シフォンケーキ販売(12/12・19)
	7	金	上野原市民生委員様歳末助け合い訪問のため来所
	12	水	生)絵手紙教室
	13	木	就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	15	土	「障がいのある人に必要な防災・災害支援 ～被災地の実情を通して～」研修へ職員参加
	19	水	利用者定期健康診断 法人職員研修会(於ライフサポートセンターさかえ)
	18	火	テレビ山梨厚生文化事業団様よりクリスマスケーキの寄贈を受ける
	20	木	生)調理訓練(かぼちゃのほうとう)
	21	金	B)クリスマス菓子引き渡し
	23	日	いずみの会主催ボウリング大会(都留ファミリーボール)
	24	月	B)椎茸原木運び
	27	木	富士吉田市社会福祉協議会様よりタオルの寄贈を受ける
	28	金	大掃除 2018年仕事納め 忘年会(於:三つ峠グリーンセンター)
1	4	金	開所日 2019年仕事始め 住友生命労働組合山梨支部様・住友生命保健相互会社山梨支社様よりタオルの寄贈を受ける
	8	火	麦の穂会議(於:ヨハネ支援センター 新年の抱負発表と看板づくり)
	10	木	麦の穂展示会(於:山梨中銀吉田支店 1/10～29) 厨)富士レークホテル様へ仕出し弁当50食提供(1/11 50食) 就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	16	水	就B)障害者雇用啓発・ブリッジスクール研修会へ職員参加(於:韮崎市ニコリ) B)お菓子班、保健所細菌試験検査
	18	金	健康科学大ソーシャルワーク現場実習2名受け入れ B)シチズン時計にてお菓子販売 生)陶芸教室
	23	水	生)調理訓練(どらやき)

月	日	曜	主な活動内容
1	25	金	B)就労継続支援B型事業内容検討会議
	26	土	新年互例会
	27	日	厨)富士吉田市選挙管理委員会様へ仕出し弁当75食提供
	29	火	B)郡内地域障害者生活支援事業所協議会地区別交流会へ参加(於:都留ファミリーボウル)
	30	水	生)料理教室(アップルパイ・野菜のスープ)
	31	金	B)ジョブコーチサポート研修へ職員参加 生)調理訓練(牛乳かん)
2	2	土	初午祭へ職員参加
	6	水	知的障害者福祉業務従事者研修「意思決定支援=権利擁護の実践」へ職員参加
	8	木	B)バレンタイン菓子引き渡し
	14	水	生)調理訓練(ブラウニー) 就)富士北麓自立支援協議会就労支援部会へ職員出席
	15	金	富士吉田市労働福祉協会ボウリング大会へ利用者参加 厨)サンドイッチ40食提供 生)陶芸教室
	19	火	麦の穂会議(於:交流センター 麦の穂展看板づくり)
3	23	土	地域生活支援事業所協議会事例研修会へ職員参加
	27	水	生)料理教室
	7	木	就B)ジョブコーチ研修へ職員参加 ?
	8	金	B)ホワイトデー菓子引き渡し B)東部・富士北麓圏域就労支援ネットワーク研修へ職員参加・発表
	14	木	第2回事業者集団指導及び説明会へ職員参加
	15	金	富士北麓当事者向け研修会へ職員・利用者参加
	18	月	就)(株)ファナックへ1名就職 就)(株)富士急ビジネスサポートへ1名就職
	19	火	事業所防災訓練
	22	金	ポップサーカス観覧(於:ラザウオーク甲斐双葉 3/26)
	23	土	管)富士吉田社会福祉協議会主催「災害ボランティア研修」へ職員参加
	28	木	就労継続支援B型事業内容検討会議 生)個別調理訓練(インスタントラーメン)
	29	金	平成30年度納会
	31	日	TORAYA様へ仕出し弁当55食提供

グループホームあさひ・そよかぜ

平成30年度事業報告書

(平成30年 4月 1日～平成31年 3月 31日)

1. 利用者 あさひ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
退居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

そよかぜ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
退居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

支給決定市町村      富士吉田市(3名)      都留市(1名)      清瀬市(1名)      西桂(1名)  
                          上野原市(2名)      道志村(1名)      忍野村(1名)

2. 職員

管理責者兼世話人(常勤) 1名      サビ管兼世話人(常勤) 1名  
 世話人(非常勤) 5名(2名はGHあさひと兼務)(他事業所と兼務) 2名

3. サービス内容

- (1)食事の提供(朝食 夕食)
- (2)日常生活の支援
  - ・日中活動の支援
  - ・掃除、選択、買い物等への支援及び働きかけ
  - ・悩みや不安などの相談事への助言等の支援
- (3)医療及び健康管理の支援
- (4)金銭管理の援助
- (5)障害者総合支援法に係わる申請の援助
- (6)行政手続きの代行

4. 活動報告

月	日	曜	活 動 内 容
4	1	日	GHあさひ・ありが亭内覧会
	4	水	荒井電設さん宅でお花見(そよかぜ)
	9	月	牛田さん、山本さんGH体験利用開始(～30日)
	10	月	運営委員会(管理者出席)
	16	月	運営委員会(管理者出席)
	17	火	世話人会議
	23	月	防犯委員会
	23	月	裕士さん体験利用開始(～30日)
5	1	火	牛田さん、山本さん、裕士さんGHあさひ利用開始

月	日	曜	活 動 内 容
5	7	月	運営委員会(管理者出席)
	13	日	ありんこフリーマーケットに参加出店
	14	月	防犯防災委員会
	16	水	世話人会議
	17	木	虐待防止委員会
	17	木	運営委員会(管理者出席)
	21	月	羽田大輝さんGH体験利用開始(～6/11)
	30	水	共同募金会調査
6	7	木	防災委員会(サビ管出席)
	14	木	運営委員会(管理者出席)
	13	水	世話人会議
	14	木	運営委員会(管理者出席)
	20	水	法人職員対象虐待研修(ライフサポートセンターさかえ)
	20	水	虐待委員会
	28	木	入退所委員会
7	5	木	防災会議
	11	水	世話人会議
	12	木	防犯訓練(ライフサポートセンターさかえ)
	18	水	運営委員会(管理者出席)
	25	水	防災講習参加(管理者)
8	7	火	虐待防止委員会
	20	月	職員研修へ相談現任者研修
	21	火	世話人会議
	21	火	運営委員会(管理者出席)
	22	水	ふじざくら支援学校父兄見学10名(サポさ)
	27	月	かんむらさんへ見学に行く
9	5	月	入退所委員会
	6	木	そよかぜバーベキュー
	11	火	防犯委員会
	12	水	入退所委員会
	12	木	運営委員会(管理者出席)
	19	水	世話人会議
	20	木	職員虐待研修へ
10	3	水	運営委員会
	5	金	ふじざくら支援学校父兄見学(サポさ)
	12	金	パルパル利用者・職員見学15名利用者さん職員さん見学(サポさ)
	16	火	入退所委員会
	17	水	世話人会議
	17	水	強度行動障害会議出席
	21	日	ありんこ祭り参加



月	日	曜	活 動 内 容
10	24	水	監査
	25	木	虐待委員会、運営委員会、入退所委員会
11	6	火	職員研修強度行動障害(～7日)
	8	木	入退所委員会
	14	水	職員山梨県地域生活業所協議会研修旅行参加
	17	土	きずなDVD上映会((サポさ)
	20	金	世話人会議
	22	木	運営委員会(管理者出席)
	28	水	理事会
	29	木	市強度行動障害研修
12	2	日	サポあり研修会参加
	6	木	GHあさひ、そよかぜ合同忘年会(やぶ)
	10	月	たけのこ利用者さん職員さん見学(サポさ)
	11	火	理事会
	12	水	運営委員会、虐待防止委員会
	13	木	職員研修
	18	火	世話人会議
	19	水	ありんこ職員交流会(サポさ)
	20	木	理事会
	27	木	運営委員会(管理者出席)
1	11	金	防災防犯委員会
	16	水	運営委員会(管理者出席)
	22	火	運営委員会(管理者出席)
	23	水	世話人会議
	26	土	新年互例会
	31	木	地域拠点事業説明会参加(管理者)
	31	木	小俣耕一郎さんご尊父通夜に参列
2	2	土	初午祭
	5	火	職員研修へ強度行動障害(～6日)
	7	木	運営委員会(管理者出席)
	20	水	世話人会議
	26	火	運営委員会(管理者出席)
	6	水	パルパル利用者・職員見学15名
3	7	木	運営委員会(管理者出席)
	15	金	ふじざくら支援学校父兄見学15名(サポさ)
	20	水	世話人会議
	27	水	理事会・評議委員会
	28	木	運営委員会(管理者出席)

## 5. まとめ

平成30年度は新しくライフサポートセンターさかえが開設され、既存の女性のグループホームそよかぜに加え男性のグループホームあさひがオープンいたしました。そよかぜは50代の利用者さんが1名60代の利用者さんが3名と高齢化が進んできております。1名の方には、てんかん発作があり休日の買い物などに不安があるため、移動支援事業所の利用手続きを進めました。日中の活動場所として1名が一般就労しており残りの6名は近隣の事業所を利用しています。昨年まで3名の方が一般就労していましたが、2名の方がサービス事業所の利用を開始することになりました。そのうちの1名の方はまだ30代と若く本人ももう一度一般就労したいという希望を持っていますので他機関とも連携を取りながら生活の部分安定するように支えていきたいと思っております。

GHあさひは、昨年5月に3名の利用者でスタートし1年間3名のままでした。利用者さんは年齢層も若く、にぎやかに過ごしておりますが、1年たち環境にも慣れてきた様子です。3月には1名の方が一般就職し就労している方が2名になりました。GHへの見学者も多く来年度の利用を検討している方もおります。富士山がきれいに見える2階のテラスで焼肉パーティーをしたいという夢がありますので、温かくなったらそよかぜと合同で開催したいと思っております。これからも安心・安全を心掛け、働く職員、世話人にとっても風通しのよい場所になるように努めてまいります。

# 短期入所事業所ありが亭 平成30年度事業報告書

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

## 1・事業の内容

障がい者が可能な限りその地域における生活が継続できることを念頭において、居宅の生活が一時的に困難になった障がい者に対し入浴・排せつ・食事・着替えの介助・見守りその他必要なサービスを提供して、日常生活上の支援を行います。

2・登録利用者            男性5人            女性8人            合計13人

支給決定市町村    富士吉田市(8名) 富士河口湖町(1名) 西桂町(1名) 忍野村(2名) 山中湖村(1名)

## 3・利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男性利用者	0	0	0	3(人)	3(人)	3(人)	4(人)	3(人)	3(人)	3(人)	4(人)	4(人)	5(人)
女性利用者	0	0	0	0	0	3(人)	4(人)	3(人)	3(人)	0	3(人)	3(人)	8(人)
利用者合計	0	0	0	3(人)	3(人)	6(人)	8(人)	6(人)	6(人)	3(人)	7(人)	7(人)	13(人)
利用日数合計	0	0	0	8(日)	6(日)	19(日)	21(日)	23(日)	17(日)	6(日)	29(日)	24(日)	153(日)

## 4・職員

管理者1名            生活支援員 兼務5名

## 5・総括

平成30年4月より短期入所事業所ありが亭をオープンいたしました。  
開始当初は、開設準備に追われ、登録手続き、入退所委員会などがスムーズに進まず7月からの実質的開始となりました。当初は慣れているありんこ事業所の利用者さんの登録だけでしたが徐々に他事業所の利用者さんも増え、3月末では7名がありんこ事業所の利用者さんで、6名が他事業所の利用者さんでした。利用する方の理由は、将来的なことを考え家以外の生活になれたいという方や、家族の用事による方、本人の生活疲れや健康管理や維持などでした。担当する職員さんも初めての方が多く、バタバタ過ぎた1年でしたが、利用人数が3人で静かな環境であり、設備もまだ新しいことから利用するのを楽しみにしてくださる利用者さんもおります。  
短期入所事業所としては事業の重要性を認識しながらも、単価が低いなどの面から厳しい現状でもありますが、地域の中で暮らしていきたいという利用者さんの希望がある限りお手伝いをしていきたいと思っています。

**相談支援事業**  
**平成30年度事業報告書**

(平成30年 4月 1日～平成31年 3月 31日)

**<指定特定相談支援及び指定障害児相談支援事業>**

**1. 事業の内容**

- (1) 指定障害福祉サービス等の利用を希望する者、当該市町村から当事業の利用の申込みの受理を検討します。受理したものについては、(2)からの支援を提供します。やむを得ず、受理できないものについては、当該市町村と協議し他相談支援事業所での事業の利用を依頼します。
- (2) 相談支援専門員は、利用者についてのアセスメントに基づき、当該地域における福祉サービス等の提供体制を勘案し、サービス等利用計画案を作成します。当該アセスメントにより把握された解決すべき課題等に対応するための最も適切な福祉サービス等の組合せについて検討を行い、当該利用申込者の障害の特性に応じた適切な配慮をしつつ、運営規程の概要、従業員の勤務体制、その他利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該指定計画相談支援の提供の開始について利用申込者の同意を得た上で支援を実施します。
- (3) 相談支援専門員は、サービス等利用計画案を作成した際には、当該サービス等利用計画案の内容について、利用者に対して説明し同意を得た上で、当該サービス等利用計画案を利用者に交付します。
- (4) 相談支援専門員は、支給決定が行われた後に、指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整を行うとともに、サービス等利用計画の原案に位置づけた福祉サービス事業等の担当者を招集して行うサービス担当者会議の開催等により、専門的な見地からの意見を踏まえた上で、サービス等利用計画を作成します。
- (5) 相談支援専門員は、前項のサービス等利用計画を作成した際には、当該サービス等利用計画の内容について、利用者に対して説明し同意を得た上で、当該サービス等利用計画を利用者及び担当者に交付します。
- (6) 相談支援専門員は、サービス等利用計画の作成後、サービス等利用計画の実施状況の把握「モニタリング」を行い、必要に応じてサービス等利用計画の変更、福祉サービス事業者等との連絡調整その他の便宜の提供を行います。
- (7) 相談支援専門員は、モニタリングに当たっては、利用者及びその家族、福祉サービス事業者等との連絡を継続的に行うこととし、支給決定時に市町村が定めたモニタリング期間ごとに、利用者の居宅等を訪問し面接を行うほか、その結果を記録します。

**<地域移行支援及び地域定着支援事業>**

- (1) 利用者が地域において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、保健、医療、福祉、就労支援、教育等の機関と緊密な連携を図りつつ、指定地域相談支援を利用者の意向、適正、障がいの特性その他の事情に応じ、適切かつ効果的に行うよう努めます。

**2. 職員の職種、員数及び職務内容**

- (1) 管 理 者 1名(非常勤)  
管理者は、従業員の管理、指定計画相談支援及び指定障害児相談支援の利用の申し込みに係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行うとともに、事業の実施に関し、法令等において規定されている事項について、事業所の従業者に対し遵守させるために必要な指揮命令を行います。
- (2) 相談支援専門員 2.5名(常勤専任1名、非常勤専任1名、非常勤兼務1名)
- (3) 相談支援員、地域移行支援・地域定着支援を担当する者

**3. 通常の事業の実施地域**

富士北麓6市町村全域(富士吉田市 富士河口湖町 西桂町 忍野村 山中湖村 鳴沢村)  
その他、近隣市町村。

**4. 主たる対象者**

身体障がい者 知的障がい者 精神障がい者 障がい児 難病患者など

5. 利用者実績

指定特定相談支援及び指定障害児相談支援事業

市町村名	利用者数	月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
富士吉田市	96	計画相談	計画	11	6	4		2	3	6	5	4	1	1	17	60
			モニタリング	11	12	10	8	19	6	3	12	5	6	2	7	101
	6	障害児相談	計画	3							1	1			1	6
			モニタリング		1		1			3		2	1	2	1	11
富士河口湖町	43	計画相談	計画	3	1	1	6	2	3				1	2	1	20
			モニタリング	6	5	3	4	5	4	5	3	14	4	4	4	61
	1	障害児相談	計画										1			1
			モニタリング											1	1	2
西桂町	7	計画相談	計画	1			3									4
			モニタリング	1	1		1		1	1		2	1			8
忍野村	13	計画相談	計画		1	1	6		2	1		1		1		13
			モニタリング			1			1	2		2	3	2	1	12
道志村	1	計画相談	計画	1	1										1	3
			モニタリング					1			1					2
都留市	13	計画相談	計画	3	1		3			1		1				9
			モニタリング		1	1	1	2	3		2	3	2		2	17
上野原市	2	計画相談	計画	3	1		3			1		1				9
			モニタリング		1	1	1	2	3		2	3	2		2	17
その他	2	計画相談	計画								2					2
			モニタリング		1							1	1			3
合計 (a)	184			43	33	22	37	33	26	23	28	40	23	15	38	361
契約終了	22	年度末職員退職に伴い他事業所へ移行、契約終了、セルフプランへ移行など														
	9	事業所再開のため、他事業所へ移行														
	7	利用者理由による事業所変更、もしくは契約終了														
	9	契約終了（就職、ご逝去など）														
合計 (b)	47															
年度末総数								137			合計 (a)-合計 (b)					

地域移行支援及び地域定着支援事業

なし

## 6. 総括

○各関係機関と連携し、利用者さんの思いと聞き取り、その方らしい暮らしが実現できるよう計画作成を行いました。本年度より、各種加算やモニタリングの標準期間の見直し等があり変化がある一年間でした。年度初めの会議で相談員間で内容の理解を深めたり、情報共有を行い、加算を取得できる状況まで至っています。

○本年度より、相談支援ネットワークやまなしに団体会員となり、総会や研修において情報の収集などを行うことができました。

○新規計画作成については、それぞれの相談員が余力を見ながら対応し、時期によってはお断りをせざるを得ないこともありましたが、できる限りの対応をさせていただきました。本年度末、契約者数は、137件（児童も含む）です。

本年度末の職員退職に伴い、現在いる相談員が約10件づつ引継ぎました。他事業所へ引き継いだケースや、入院中や事業所利用がなく契約のみ残していたケースについては、確認のもと、契約を終了しました。

また、一年間通して、相談事業所の再開や開所に伴い相談事業所の変更や就職などにより、契約終了する方もおりました。前年度比－14件です。

モニタリングや計画作成などの総数は、本年度のべ361回。前年比+12回。加算のみ（入院時連携加算、モニタリング加算など）での請求は、4回でした。モニタリングや計画作成と一緒に、該当する加算を請求しています。（モニタリング加算や担当者会議加算など）

○相談事業の会議を毎月定期開催し、ケース報告などを通して活発な意見交換が出来ました。一人で考え込まず他者からの意見を参考に出来たこと、ならびに加算やモニタリングの標準期間の見直しについて、情報共有と理解ができました。普段、個々で動くことが多い事業ですので、事業所内での情報共有や他関係機関との連携などが活発に行われたことは、有意義でありました。

○12月には、ライフサポートセンターありんこ主催で研修を開催。今回はサポあり内で企画から開催まで十分に練りました。外部講師を呼ぶ形の研修とは違い、準備や事前の打ち合わせなどの大変さはありましたが、一般の方の参加もあり地域の福祉事業所の理解に対して、一翼を担うことが

### ○富士・東部相談支援ネットワーク

3回開催され、各種加算やモニタリングの標準期間の見直しなどの理解や事例を通しての研修会を行いました。任期終了のため、副会長の職については解任となりました。

## 7. 活動報告

月	日	曜日	活 動 内 容
4	2	月	新年度挨拶（ありんこにて）
	4	水	ライフサポートセンターさかえプロジェクトチーム参加
	6	金	ライフサポートセンターさかえ開所式準備
	7	土	ライフサポートセンターさかえ開所式参加
	16	月	サポあり会議
	18	水	富士北麓自立支援協議会運営会議参加
5	12	土	ありんこフリーマーケット前日準備参加
	13	日	ありんこフリーマーケット参加
	14	月	サポあり会議
	16	水	自立支援協議会全体会参加
	24	木	スシロー河口湖店プレオープン招待
	28	月	富士東部相談支援ネットワーク会議 参加
6	2	土	相談支援ネットワークやまなし 総会参加（甲府市民会館）
	15	金	サポあり会議
	20	水	社会福祉法人ありんこ全体研修（ライフサポートセンターさかえ）
7	11	水	生活支援事業所ネットワーク会議参加
	12	木	警察署立ち合い防犯訓練参加（ライフサポートセンターさかえ）
	26	木	サポあり会議

	31	火	基幹相談支援センター主催 事例検討会
8	23	木	サポあり会議
9	12	水	初任者研修ファシリテーター派遣打ち合わせ（福祉プラザ）
	21	金	初任者研修ファシリテーター派遣（ピュア総合）
	28	金	初任者研修ファシリテーター派遣（ピュア総合）
10	5	金	初任者研修ファシリテーター派遣（ピュア総合）
	18	木	ふじのわ主催計画相談スキルアップ研修参加
	19	金	サポあり会議
	20	土	ありんこ祭り前日準備参加
	21	日	ありんこ祭り参加
	30	火	富士東部相談支援ネットワーク会議参加
11	15	木	サポあり会議
	26	月	発達障がい者支援検討会議参加
	30	金	相談支援専門員意見交換会参加
12	2	日	ライフサポートセンターありんこ主催研修”知ってもらいたい！わが町の福祉事業所”
	13	木	サポあり会議
	19	水	社会福祉法人ありんこ全体研修（ライフサポートセンターさかえ）
1	17	木	サポあり会議
	26	土	ありんこグループ新年互例会参加
	31	木	児童発達支援管理責任者研修参加
2	4	木	精神障がい者支援従事者研修参加
	21	木	サポあり会議
3	13	水	富士東部相談支援ネットワーク会議参加
	14	木	サポあり会議
	19	火	ありんこ防災訓練へオブザーバー参加
	25	月	相談支援従事者サポート研修参加（山梨県青少年センター）

障がい者就業・生活支援センターありす  
**平成30年度事業報告書**  
 [平成30年4月1日～平成31年3月31日]

<雇用安定等事業>

1. 就業支援の実施

(1)相談・支援の実施

主任就業支援員1名、就業支援員1名を配置し以下の業務を実施

- 障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の支援を行う。
- 事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。
- 障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。

障害者に対する相談支援		事業主に対する助言		職場実習のあっせん	
対象者数	340 人	対象事業所数	99 社	件数	25 件
相談件数	2921 件	相談件数	793 件		
就職件数	54 件				

主な相談支援内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備訓練に関する相談・支援</li> <li>・求職に関する相談・支援</li> <li>・職場定着に関する相談・支援</li> <li>・職業生活に関する相談・支援</li> </ul>

(2)在職者交流会の実施

○在職者の交流参加希望者に対して交流会を実施する。交流会では、グループワーク等で職場の悩みを話し合う場を提供し、不適応課題の早期把握、改善を図り、職場定着を促進する。(年10回)

(3)就業支援担当者の研修等

○障害者就業・生活支援センター就業支援担当者経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う。(主任、就業支援担当者2名)

【障害者就業・生活支援センター南関東ブロック経験交流会議】

日時:平成30年11月16日

場所:長野県、ホテル信濃路

2. 関係機関との連絡会議の開催

○業務の円滑かつ有効な実施に資するため、他の就業・生活支援センター及び、ハローワーク、就労移行支援事業所、特別支援学校、自治体、福祉事務所等の関係機関との連絡会議を開催し、これら機関との連携を図る。(年36回)

<生活支援事業>

1. 設置場所

〈所在地〉 山梨県富士吉田市新西原3-4-20

〈名 称〉 障がい者就業・生活支援センターありす

2. 担当職員の設置状況 生活支援員(常勤)1名 生活支援員(他事業兼務)1名

3. 生活支援の実施

(1)地域内の障害者の状況把握及び登録

活動内容	実施期間	実施方法	備考
各種相談活動	随時	家庭・施設・学校・職場等への訪問または電話やメールによる相談。または来所相談。	527 件

(2)登録された障害者に対する支援

活動内容	実施期間	実施方法	備考
各種相談活動	随時	家庭・施設・学校・職場等への訪問または電話やメールによる相談。または来所相談。	527 件
ケース会議の開催または出席	随時	ケース会議を実施。または出席。	
同行支援	随時	各種手続きやハローワーク等への同行支援。	409 件

#### 4. 関係機関との連絡調整

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| ○就業・生活支援センター合同会議 | 3ヶ月に1回開催          |
| ○富士・東部自立支援協議会    | 1ヶ月に1回開催、又は2ヶ月に1回 |
| ○連絡調整会議          | 随時開催              |

#### <活動報告>

日付	活 動 内 容
5月13日 6月16日 7月15日 8月24日 9月15日 10月21日 11月17日 12月15日 2月22日 3月16日	在職者交流会
11月21日	南関東ブロック別経験者交流会議
5月16日 3月5日	労働局主催：障がい者就業・生活支援センター連絡会議
4月18日 7月18日 10月31日 2月27日	障がい者就業・生活支援センター合同連絡会議
5月28日	富士東部相談支援ネットワーク
6月25日	発達障害者支援センター連絡会議
10月5日 3月5日	雇用移行推進連絡会議
11月26日	富士・東部圏域発達障害者支援検討会議
3月5日	ひきこもり支援検討会議
8月21日 11月21日 2月21日	富士、東部自立支援協議会 全体会
6月14日 7月12日 12月13日 1月10日 1月29日 2月14日 3月15日	富士北麓自立支援協議会・就労部会、東部自立支援協議会・日中活動部会

#### <総括>

平成30年度は、前年度に比べ相談件数、職場実習、定着率あっせん件数ともに下回りましたが、就職件数は昨年度を上回りました。令和1年度も昨年度同様に、職場実習に力を入れ、労働局や障害者職業センター、ハローワーク、福祉事業所などと連携し、就労や職場定着率の向上を目指します。

令和1年度より新しい試みとして、各ハローワークを定期的に巡回し、相談日を設けることにいたしました。これは、ありすの周知ということもありますが、ニーズの掘り起こしやハローワーク、企業との連携の強化に繋がります。

在職者交流会は年間を10回開催しました。平成30年度は「一人暮らしデビューに向けて」という一年間のテーマを決めて学習会を中心に行いました。富士吉田市消費生活センターの方には「アパートの契約の方法」「インターネット詐欺」富士吉田市役所の方には「税金」「防災」について話して頂きました。令和1年度も継続して「一人暮らしデビューに向けて」というテーマで研修会を行っていきたいと思っています。



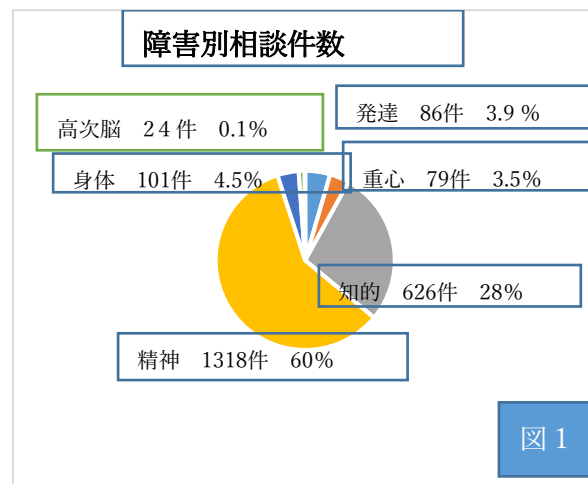
# 平成30年度 富士北麓障害者基幹相談支援センター事業報告(概要版)

## 1. 相談支援の実績

### ①障害児者の人数等（図1）

1年間の延べ件数 2,236 件（H29 年度は 3,082 件）、実人数 809 名（H30 年度 679 名）。  
障害別では、身体 101 件、重心 79 件、知的 626 件、精神 1,318 件、発達 86 件、高次脳 24 件、  
その他 12 件。電話とメールのカウントを信憑性のある方法に替えたことから件数が減少。

精神障害者の相談が半数以上を占めており、6市町村のうち、5市町村が相談件数のトップが精神障害者。



### ②支援方法（図1）

1年間の延べ件数 2,236 件、多い順に 電話相談 848 件、  
訪問 319 件、同行支援 267 件、特に来所が増え、232 件。  
個別支援会議も 239 件であり関係機関との連携が図られた。

### ③支援内容（図3）

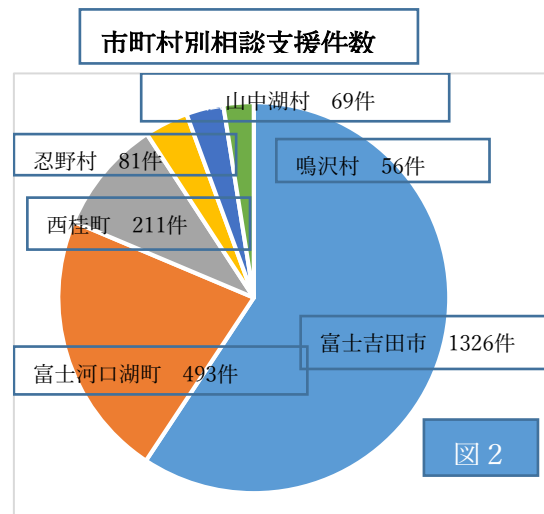
不安の解消、情緒安定の相談 1,016 件、福祉サービス利用  
相談 875 件、健康・医療に関する相談 865 件。その他、  
家族や人間関係の相談 287 件、就労の相談 262 件（増加）  
など、幅広い相談支援を行なった。放課後等デイサービスの  
増設や、精神科病院退院後に福祉サービスを利用する方の  
相談が多かった。（図3）

### ④窓口・市町村別の相談

基幹支援センターの窓口相談は月平均 19.3 名。

市町村別では、富士吉田市 1,326 件、富士河口湖町 493 件  
西桂町 211 件、忍野村 81 件、山中湖村 69 件、鳴沢村 56 件。  
その中で、他の障害との差が大きかったのは、富士河口  
湖町の精神障害者の相談であり、人口比でみると、西桂町が  
最も相談が多く、メールでの相談も市町村の中でトップ。

6市町村のうち、富士吉田市が、訪問、来所、電話、関係者  
会議においてトップ。（図2）

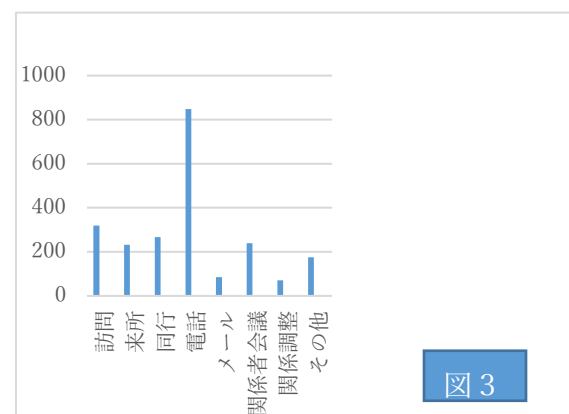


### ⑤夜間対応・休日対応

精神、知的障害のある方の家族関係のことで不安、  
精神の方の自殺企図等に電話等で対応。

強度行動障害の方の自宅での粗暴行為の SOS があり、  
基幹相談と圏域マネージャーでローテーションを組み土日の  
対応を行った（2 か月）。

泥酔後救急車を呼び救急隊からの連絡、養護者からの虐待が  
あり休日に対応した。



## 2. 講師派遣依頼など

- ①山梨県相談支援従事者初任者研修ファシリテーター
- ②富士東部相談支援ネットワーク事例検討会ファシリテーター
- ③富士北麓地域生活支援拠点等事業の説明会
- ④ふじざくら支援学校「卒業後の生活を考える会」講師（生徒・保護者対象）
- ⑤富士北麓地域介護支援専門員（ケアマネ）研修会講師

## 3. 諸会議等の参加

- ①富士北麓自立支援協議会（運営会議・就労部会・地域部会・児童部会等）
- ②居宅介護事業所ネットワーク
- ③山梨県自立支援協議会部会参加（重心部会）
- ④富士五湖広域消費者見守りネットワーク
- ⑤日常生活自立支援センター会議（日常生活自立支援事業）

## 4. 計画相談等に関する支援

支援の難しい方を対象とした計画相談の担当者会議や、モニタリング会議、退院カンファ  
レンスに出席。30 年度は基幹相談支援センターと相談支援事業所の評価を実施し、事業所  
の強みと弱みを整理することができた。セルフプランのガイドラインを作成した。

## 5. 地域移行や地域定着に関する支援

精神科病院の退院支援や、退院カンファレンスへ参加、退院後の日中活動の事業所探し、  
退院意欲の喚起を固めるためにピアサポーターの活用、地域定着会議参加、就労に向けての  
支援などを行った。1 名の相談員が、月 2 回～3 回は精神科病院を訪問している（病院同  
行、カンファレンス、ワーカーとの連携等）。精神症状が悪化し入院につながる支援もあっ  
た。

## 6. 30 年度基幹相談支援センター事業計画の評価と課題

- ①居宅介護事業所（ヘルパー）不足が毎年の課題であり、特に移動支援、同行援護、行動援  
護等のサービスが限定されている。富士北麓地域版ヘルパー利用パンフレットを作成した。
- ②基幹相談支援センター主催で事例検討会も開催したが、回数が少なく、多くの方に参加し  
て頂けるように周知をして行きたい。
- ③地域生活支援拠点 PT と、強度行動障害 PT の立ち上げに支援を行い、今後も継続して PT  
チームに関わっていく。
- ④精神障害者の地域移行・定着を進めるためにピアポーターの活用を支援し、精神科病院の  
医師やワーカーと連携を図ってきた。
- ⑤自立支援協議会を軸として、地域の支援体制や体制整備を検討しているが、さらに地域住  
民への理解や普及活動（障害者差別、合理的配慮、虐待等）が必要である。
- ⑥児童部会を設置したことから、教育と福祉の連携が図られてきているが、医療的ケア児・  
者の支援体制が課題である。